

平成26年度 北海道デイサービスセンター研究協議会

『デイサービスにおける 認知症ケアの取り組みと実際』

『最期まで人となりを大切に生きていけるように』

～認知症を生きる人たち～

認知症対応型通所介護（個別ケアの実践例）

- 認知症対応型通所介護は、運営基準において「利用者の心身の状況を踏まえ、それぞれの役割を持って日常生活を送ることができるよう配慮して行う」とこととされている。

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準（平成18年3月14日厚生労働省令第34号）

（指定認知症対応型通所介護の具体的な取組方針）

第51条 指定認知症対応型通所介護の方針は、次に掲げるところによるものとする。

- 一 指定認知症対応型通所介護は、利用者が住み慣れた地域での生活を継続することができるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況を踏まえ、妥当適切に行うものとする。
- 二 指定認知症対応型通所介護は、利用者一人一人の人格を尊重し、利用者がそれぞれの役割を持って日常生活を送ることができるよう配慮して行うものとする。

【参考】

個々の認知症の人の症状や状態に合わせた個別ケアを提供するために、アセスメントを行い、通所介護計画を作成し、日々の活動を通じた個別ケアを実施している活動例

利用者に期待される効果	活動の目的	代表的な活動例
生きがいや達成感を感じる	利用者の過去の仕事や経験を活かす 利用者一人一人が役割を持って取り組む	調理・おやつ作り、農業・野菜作り・園芸、裁縫・編み物・手芸、書道、生け花、大工仕事 など 調理・おやつ作り、食器洗い、洗濯物たたみ、テーブル拭き、配膳・掃除、園芸、工作、煎餅 など
楽しみを通じ、意欲がわく	個々の利用者の趣味や興味	調理・おやつ作り、編み物・裁縫・手芸、貼り絵・ちぎり絵・ぬり絵、カラオケ・合唱、ドライブ・散歩、囲碁・将棋、絵画・絵手紙、書道、読書 など
残存機能の維持・向上	脳のトレーニング 身体機能の維持・向上	カードゲーム・トランプ、オセロ・ボードゲーム、クイズ、パズル、囲碁・将棋、囲想法、学習療法、計算・脳トレ、ことわざ・しりとり、釣り絵 など ストレッチ、ラジオ体操、リハビリ体操・機能訓練・歩行訓練、軽体操・体操・リズム体操、ゲーム、外出・散歩 など
社会性の保持	地域の人と交流を持つ 利用者同士の交流をもつ	ドライブ、外出・散歩、外食、買い物、ボランティアの受け入れ・慰問、音楽会・文化祭、夏祭り、交流会 など 調理・おやつ作り、お茶会・誕生会、カラオケ・歌、ゲーム、お花見・散歩、外出・散歩・ドライブ、外食、レクリエーション、運動会 など

【出典】平成24年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（平成25年度調査）「認知症対応型共同生活介護のあり方に関する調査研究事業」事業者調査票

29

主な論点

(認知症対応型共同生活介護について)

○ 認知症対応型共同生活介護の特性(運営基準で「利用者がそれぞれの役割を持って家庭的な環境の下で日常生活を送ることができるよう配慮して行う」と規定。)である利用者の役割を生かすケアを推進するための方策をどのように考えるか。

○ 酸素療法、カテーテル、疼痛の看護など重度化した医療ニーズのある入居者に対応する医療連携をどのように考えるか。

○ 夜間ケア加算について現行要件では取得が困難であるとの意見があったが、ユニット毎に1名夜勤を配置する現行の人員配置基準を踏まえ、夜間・深夜時間帯における加算による人員の加配についてどのように考えるか。

○ 制度創設当初と比較して入居者の要介護度の重度化により、備え付けの福祉用具では対応が困難となっている実態を踏まえ、どのように考えるのか。

○ 運営推進会議のあり方及び外部評価の仕組みについてどのように考えるか。

(認知症対応型通所介護について)

○ 利用者がそれぞれの役割をもって日常生活を送ることができるよう配慮して行われてきた認知症対応型通所介護であるが、今後、通所介護における機能に着目した事業内容の類型化に関する議論を踏まえ、その位置づけをどのように図っていくか。

○ 事業規模にも関わらず、「3人以下」とされている共用型デイサービスにおける現行の定員基準についてどのように考えるか。

(認知症に関連した介護報酬について)

○ これまで累次の介護報酬改定の中で、認知症に関連した加算が多く創設されてきたが、認知症要介護高齢者は今後も増加する見込みであり、認知症への対応を更に進めるためには、これらの加算についてどのように考えるか。

38

● 平成22年度老人保健健康事業推進事業

「介護保険施設等における

職員配置基準に関する調査研究」

(社団法人財形福祉協会)

あるべき姿・目指したい姿

【図表 5】

項目	あるべき姿・目指したい姿
①起床・消灯	起床時間・消灯時間は、画一的でない方がよい
②着替え	昼と夜の着替えを行う方がよい
③入浴	夕食後(夜間)の入浴ができるようにした方がよい
	入浴は利用者の希望する頻度(回数)入浴できる方がよい
	利用者の状態に合わせてマンツーマンでの入浴が望ましい
④排せつ	排せつ介助は、随時介助が必要だ
⑤外出	利用者が個別に自由に外出できることが重要だ
⑥施錠	日中は、なるべく玄関・入り口などの施錠をしない方がよい
⑦食事	できる利用者は、食事の調理・盛り付け・後片付けなどを常時、主体的に実施できるような状況が重要だ

原因疾患の種類

- 現在の医療でも十分に根本的な治療ができる可能性のある認知症
- 進行してしまうと回復は困難であるが十分に発症予防や進行予防が可能な、脳血管障害の後遺症としての血管性認知症
- 根本的な治療が困難な、脳の神経細胞がゆっくりと壊れていく神経変性疾患による認知症

池田 学 著 『認知症 専門医が語る診断・治療・ケア』 中公新書 より

心配された状態

廃用症候群(他の認知症に合併することが多いので注意が必要)

『手紙』～願い～

前略 専門職の皆さんへ

- 私、88歳、男、アウルで生活して5年が経つ。これは、私の叫びというか、世の中に言いたい願いでもある。私は、ゴミを集めるのが使命?というか、あんた方介護する人の中では「収集癖」と言うやっかいな事のようなのだが、私にとっては趣味というよりリサイクル活動のようなものである。そんな集めたゴミを勝手に捨てられてしまえば、誰だって嫌な気持ちになる。ちょっと怒ったら、あんた方は「暴言」だの、「暴力行為」だのと言う。今回は、そんな趣味が高じてもの作りに発展していった話を、家(うち)の社長を通してお伝えしてもらおうことにした。

今この国で起っている介護現場の実態

- 一般的に世間では私のような年寄りを「ボケ」老人という。専門的には「認知症高齢者」って言うみたいだ。しかし、私は叫びたい。そんなボケ老人にしたのは、あんた方介護をする人ではないか。社長にもよく言う。私達にだって考える力はある。感じる力だって、行動力だってある。それを、全部あんた方、介護をする人がやってしまう。年寄りを大事にするということを、あんた方は履き違えている。大事にするということは、何でもかんでもやってあげることじゃない。人間楽を覚えるとそれに慣れてしまうものである。それは、私達の弱さでもある。それは認める。ましてや年寄りだ。そんな機会を奪わないで欲しい。

どう生きてきたか／自分の身体に起っていること

- 私は、昔ブリキ職人として働いた。自転車屋もやった。自転車の修理の手際よさを気に入られて、国鉄でも働いた。退職して、町内会の仕事をした。在家の坊主もやってる。今でも葬式でお経も読む。なんでも自分にできることはしてきた。でも、年を取ってくると記憶が定まらなくなってしまうことが、度々起きるようになった。心臓もいいほうじゃない。フランドルテープって言うのを貼っている。目も片方はほとんど見えない。世間で言う、身体障害者だ。手帳もある。それが、ある日突然「ボケ」だと言われて見れ、びっくり仰天だ。それでも、自分でしたいという願望は今でもなくなるらない。

主体性と選択性の実現

- 社長が、ブリキ職人だった頃の道具を持ってこいと言うので、部屋に持ち込ませてもらった。その道具を使って、あらゆる物を創作した。もちろん、ゴミでだ。今日は、その一例を紹介する。社長にはいつも言っている。全国に広めて欲しいと。こんなにできる年寄りも、日本には五万といることを。伝えて欲しい。私達にできることを奪わないで欲しい。伝えて欲しい。私達にも感じる力はあることを。伝えて欲しい。私達にも、行動力があることを。できれば、あなた方の専門性を、そのことに生かせるよう研究して欲しい。いつかあなた方もそこにたどり着くだろうから。

共有／共感の実現

- 今日は、ひとつ皆さんに私が創作した物を作ってもらおうよう社長にお願いした。それを是非お土産に持って帰って欲しい。全国にいる人たちに知らせたい。それが私の願いだ。こうやって頑張っている年寄りもいるということ。
お手紙読んでいただいて、ありがとうございました。皆さんも御身体ご自愛下さいませ。
- (この手紙はご本人と協同で考え執筆したものであり、内容及び発表することについては、本人の同意を得ているものであります)

爺様の作品をご紹介します？ ～ある作品づくりからの主張！～

『こういうことをやってるとボケてる暇がないんですよ』

爺様曰く

『これはボケに効くんです。
学会でも発表されているんです。
私はテレビで見たんですから間違いはない！』
確かに！効く！

爺様の遺言

- 『投げる物の中に宝はあるんだよ』
- 『空き缶で作っている時が一番楽しいね。頭で考えなくても手が動いちゃってるもんだから』
- 『何でも出来上がるまで努力してみる事だね。失敗したらどうして失敗したかを考えてみて、失敗してわかるんだから。頭で考えたんではダメなのよ。あなたもやってみなさい。やってみる事が大事だね』
- 『人に助けられればね、自分も何かしなきゃならないという考え方になるはずですよ。何でもいいから人に喜ばれる事をしたいなと』

『認知症の予防若しくは進行を防ぐために・・・』

- 自分の力(自治力)を信じ、十分に発揮するように努めること。
(主体性の原則)
- 自分の意志をしっかりと持つこと。(選択性の原則)
- 他(人・社会など)との関係を絶たないこと。(関係性の原則)

『地域の中で、何があっても、人(自分と他者)の尊厳は守ること
を基本に生きることが大事である。』

狸寝入りのAさん

感情と感性のコラボに学ぶ

例え認知症があっても
感情・感性は最後まで
そこに「在る」ものです

悲しみ・怒り・羨望・不安・愛

事例

『自己尊厳にみるケアマネジメントの事例』

『自己尊厳にみるケアマネジメントの事例』

- 【事例Cさん】の概要
- Cさんの認知症のレベルは軽度。パジャマを着る、脱ぐといったことに必要な一連の諸動作もできるし、排泄も自分でできる。そして、それらの動作にふさわしい言動もできる。しかし、これらの行為を、毎日の一連の行為に連鎖させることができない。むろん言動も、毎日の単位で見るとチグハグで、トラブルも少なくない。その上、Cさんには、多控訴的な傾向がある。ある時、Cさんは、「眠れないからオムツをさせてほしい」と訴え始めた。原因をいろいろな角度から点検してみたが、今のCさんの状態でオムツをあてるのはまだ早いという結論に行き着いてしまう。医師によると、認知症よりも心気症に対応したケアが必要ということ。

『自己尊厳にみるケアマネジメントの事例』

- 【事例Cさん】の結果
- 援助者のみんなで心を一つにして「傾聴」することに決めた。訴えは、執拗に続いた。ある夜、たまりかねた援助者Dは、ゲーム感覚からオムツをすることに同意して、あてる手伝いをした。その日の朝のCさんは、満ち足りた顔をしており、ベッド柵には、オムツが掛けられていた。しかし、Dが、「ほら、オムツは要らなかったでしょう」と言って始末しようとする手を、「私がいただいたものです。今夜もさせて下さい」と言って放さない。

自己尊厳とは (Independent Autonomy Dignity)

- 『傾聴』が時に聞こえない真空の場になること。
- 自己尊厳とか自己尊重という言葉は、「援助する人」の自立尊重の価値に基づいて相手の自立を指導するという事ではない。
- だれもが例外なく思うところの自分の力で自分の思う規範にしたがって自己選択する権利を思い描き「提案する人」だと思ふ。
- 三つの言葉に込められているフィロソフィーをよく理解した上で、日々のケアを見つめてみるといろいろな発見があると思ふ。

事例に体する追記

- おむつは介護用品。
- しかしおむつを着用する主体者の自己ケアを助ける用具。
- 用具は援助資源。資源だから用品本来の使い方を制御するスキルがいる。
- 資源をコントロールするスキルを持っているから援助は多様性をもつしリアリティを持つ。
- 手仕事と技術とアイディアとが一つになることが大事なんです。

月曜日	長期目標	短期目標	具体的支援
I・M 様	話し相手を増やし、精神意欲の拡大を図る。	デイサービスで他者との交流を深める。	コミュニケーション
K・T 様	生活空間の拡大と生活リズムを整える	生活空間の拡大と生活リズムを整える事が出来る。	コミュニケーション
W・K 様	定期的に交流が持てる場を得る。	定期的に交流する。	コミュニケーション
O・Y 様	音楽的な活動を通し、自分自身の自信を取り戻し他者とのかかわりを楽しむ事が出来る。	他利用者との活動における精神的不安がなく、同年代と係る機会を増加させることができる。	コミュニケーション
T・K 様	安心して過ごす事が出来るようになる。	デイサービスの利用になれる	コミュニケーション
O・K 様	デイサービスなど集団の中で自分の楽しみを見つけ、過ごす事が出来る	進んでデイサービスに出かけ、スタッフや利用者と一緒に楽しみながら楽しみを満喫する	コミュニケーション
T・K 様	清潔を保つ事が出来る	感染症の不安がない	保清(健康管理)
T・K 様	清潔を保持する事が出来る	最低でも週1回心地よい入浴ができる	保清(健康管理)
T・K 様	薬を飲むと一人で服薬できる	声掛けで薬が飲める	服薬(健康管理)
O・Y 様	転倒がなく、自宅周辺を安全に散歩する。	体操や近隣への買い物などの活動を確実に実施する事が出来る。	機能訓練
W・K 様	心身の機能が維持できる。	定期的に機能訓練が受けられる	機能訓練
K・T 様	夫の介護負担を軽減する。	夫の介護負担を軽減する。	レスパイト

『人となり』

これらの事例にみられる共通のキーワード

私たちの仕事は・・・

- 認知症の理解
原因⇒結果の想定⇒ケア？
- 人間愛／人類愛
- 原因⇒結果⇒対応の形式教育と啓蒙

生活健康スケール

- ①支援のスキル向上セルフプログラムとして
- ②『人となり』を見出す道具として



デイサービスの効果①(種々の文献より)

- 自宅から離れ、開設の場所に身を移すことでおきる脱日常性効果
- 参加仲間とのグループワークから生ずるふれあい効果
- 自己尊厳の回復効果



デイサービスのプログラムの結果を評価

デイサービスの効果②

- 利用主体である高齢者とスタッフの『ケアの関係性』
- 
- 文献では副次的効果として示されていることが多い
- 
- しかし、スタッフの行動変容がデイサービスの効果に大きく関与している

スケールの生まれた背景

- 人間はエラー(失敗したり、つまづいたり)をしながら学習し成長する。認知症の状態にある人も然り。
- 認知症の状態にある人たちは学習をやめるひとじゃない。やめさせたがる周りの人はいっぱいいますが、それに同調する認知症の状態にある人もいる。その同調も人間の智恵として捉えることもできる。
- だからこそ、他の援助者に依存する事なしに、支援者が自分と向き合いながら、認知症の状態にある人と向き合って学習していける方法を開発。

「生活健康スケール」を活用する意義

- 成人期に達成した人間は、瞬時にある場面で自分自身どうしたらいいのかわからなくとも、何らかの対処方法を選択し、振る舞える潜在能力があるという考えを基盤に置いている。

「生活健康スケール」を活用する意義

- 「認知症の状態にある人個々の(人となり)を形作っている行動様式のとらえ方」と定義



- ものの言い方、身振り、表現のあり方、常識
- 身の回りを整えるための道具の使い方など具体的な身体技法
- 社交、儀礼などの人間関係技法

三つの因子解釈

- 第一因子⇒『常識や好みに応じて(状況)、人環境を選択的に使い分けられる因子』
- 第二因子⇒『身振り表現、振る舞い表現など身体技法における表現力』
- 第三因子⇒『置かれた場を許容し、操作的に扱える因子』



『智 恵』

使用法

1. このスケールは、精神症状やいわゆるBPSD(心理・行動障害)に着目するのではなく、「認知症」といわれる病の状態をもちながら生きて生活している個人の肉体的な能力や健康さを評価します。
2. 評価は集団に比較しての個人ではなく、その個人がどのような状態であるかに視点をおいて行ってください。他人に較べて低くてもデイサービス等の事業所に通ったり、過ごしたりすることで維持・改善した面があればその人の健康さと評価します。最近の状況からみたその人の平均像で行ってください。
3. スケールは以下の4段階に分かれています。それぞれの事業所での印象に基づいて評価してください。

スケール評価 4段階

3	かなりみられる
2	ややみられる
1	あまりみられない
0	全くみられない

例) 1. 仲間への気配りがある

(かなりー3) 仲間の感情や集団全体の動きに気を配り、適切にそれを表現できる。

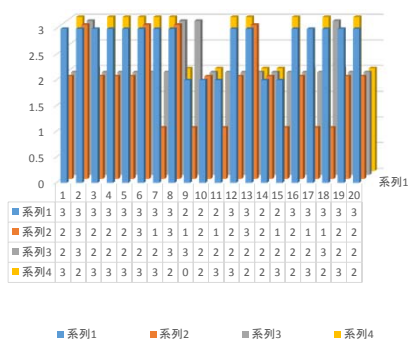
(ややー2) 気を配る様子はあるが、状況にマッチした気配りにはならないことの方が多い。

(あまりー1) どちらかといえば0に近い。↓

(全くー0) 仲間の方へ目が向かない。

生活健康スケール I・M様

I・M様 データ



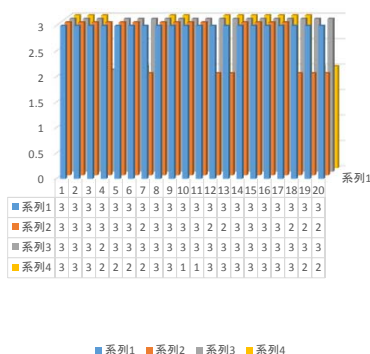
項目	管理者 入社12年	介護員1 取組役	介護員2 業務-6年 目	介護員3 入社2か月
仲間への気配りがある	3	2	2	3
間こうとする態度がある	3	3	3	2
身だしなみに気を遣う	3	2	2	3
自分の居場所を見つづけることがうまい	3	2	2	3
人にものを頼める	3	2	2	3
自分の意思を示せる	3	3	2	3
人を和ませる雰囲気がある	3	1	2	3
集団遊びが出来る	3	3	3	2
外出を楽しめる	2	1	3	わからない
人の使い分けがうまい	2	2	2	2
思い出話がうまい	2	1	2	3
人を褒めるのがうまい	3	2	2	3
礼節、道徳への関心がある	3	3	2	2
手伝おうとする	2	2	2	2
表情が豊かである	2	1	2	3
生き生きした目をしている	3	2	2	2
待ってられる	3	1	2	3
人を引き付ける雰囲気がある	3	1	3	2
好奇心がある	3	2	2	3
楽しみにしていることがある	3	2	2	2

根拠

- **仲間への気配りができる**
 - 3 スタッフにさりげなく「あの人シャツでているよ、直してやんなさい」と声をかける。(管理者)
- **思い出話がうまい**
 - 2 ほかの方が発信した話に対して相槌を打つことはよく見られるが、自分から昔の話などはあまり聞いたことがない(管理者)
 - 3 昔は男勝りで酔っぱらって男の人を川に投げ落としたもんだ、と話していた(新人職員)
- **人を引き付ける雰囲気がある**
 - 3 怖そうに見られていると思っていたが、割と周りにほかの方がいることが多い。(管理者)
 - 2 積極的に周りの人と話している場面をあまり見たことがない。(新人職員)

生活健康スケール W・K様

W・K様 データ



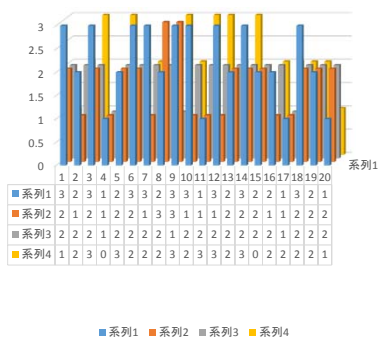
生活健康スケール	W・K様	管理者 入社12年	介護員1 取締役	介護員2 業務 6年目	介護員3 入社2か月
仲間への気配りがある	3	3	3	3	
聞こうとする態度がある	3	3	3	3	
身だしなみに気を遣う	3	3	3	3	
自分の居場所を見つけることがうまい	3	3	2	2	
人にものを頼める	3	3	3	2	
自分の意思をさせる	3	3	3	2	
人を和ませる雰囲気がある	3	2	3	2	
集団遊びが出来る	3	3	3	3	
外出を楽しめる	3	3	3	3	
人の使い分けがうまい	3	3	3	1	
思い出話がうまい	3	3	3	1	
人を褒めるのがうまい	3	2	3	3	
礼節、道徳への関心がある	3	2	3	3	
手伝おうとする	3	3	3	3	
表情が豊かである	3	3	3	3	
生き生きとした目をしている	3	3	3	3	
待っている	3	3	3	3	
人を引き付ける雰囲気がある	3	2	3	3	
好奇心がある	3	2	3	2	
楽しみにしていることがある	3	2	3	2	

根拠

- 人を使い分けるのがうまい
 - 3 調理をするときなどスタッフの能力を見極めて、どこまでできるのかを把握しているように感じる。若いスタッフには「〇〇にしたほうがいいんじゃないか」等助言するが、年配のスタッフには「これどうするんですか？」と尋ねながらすることが多い。きちんとアセスメントしている。(管理者)
 - 1 どの人に対しても丁寧に接しているから、区別していないんじゃないか(新人職員)
- 自分の意思を示せる
 - 3 嫌なものは嫌、とはっきりと言える。自分の価値基準をしっかりと持っている。(管理者)
 - 2 お風呂ぐらいしか断られることがなく、あとは大体声をかければ「いいよ」としてくれる。(新人職員)

生活健康スケール O・Y様

O・Y様 データ



生活健康スケール	管理職 入社12年	介護員1 取締役	介護員2 業務 6年目	介護員3 入社2か月
仲間への気配りがある	3	2	2	1
聞こうとする態度がある	2	1	2	2
身だしなみに気を遣う	3	2	2	3
自分の居場所を見つけることがうまい	1	1	1	0
人にものを頼める	2	2	2	3
自分の意思を示せる	3	2	2	2
人を和ませる雰囲気がある	3	1	2	2
集団遊びが出来る	2	3	2	2
外出を楽しめる	3	3	1	3
人の使い分けがうまい	3	1	2	2
思い出話がうまい	1	1	2	3
人を褒めるのがうまい	3	1	2	3
礼節、道徳への関心がある	2	2	2	2
手伝おうとする	3	2	2	3
表情が豊かである	2	2	2	0
生き生きした目をしている	2	1	2	2
待ってられる	1	1	1	2
人を引き付ける雰囲気がある	3	2	2	2
好奇心がある	2	2	2	2
楽しみにしていることがある	1	2	2	1

根拠

- 仲間への気配りがある

3 送迎時から他者の様子を気遣うことが多く、「寒くありませんか?」、「この方大丈夫ですか?」など積極的に声をかける(管理者)

1 帰りたい思いから、周りはあまり気にせず過ごしている。(新人職員)

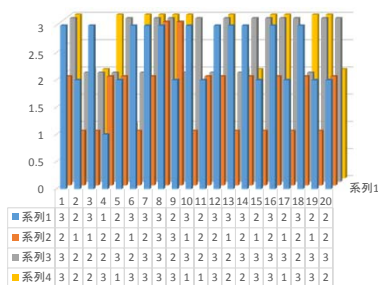
- 表情が豊かである

2 笑ったり怒ったりTPOに合わないこともあるが、よく表情が変わる(管理者)

0 笑い上戸でずっと笑っている印象がある(新人職員)

生活健康スケール K・T様

K・T様 データ



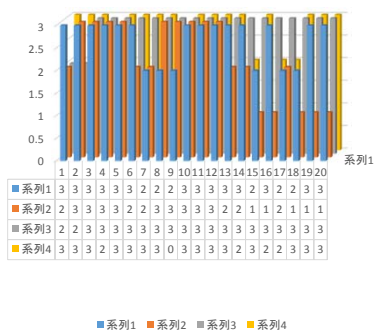
生活健康スケール	K・T様			
項目	管理者 入社12年	介護員1 取組位	介護員2 業務 6年目	介護員3 入社2か月
仲間への気配りがある	3	2	3	3
聞こえとする態度がある	2	1	2	2
身だしなみに気を遣う	3	1	2	2
自分の居場所を見つけることがうまい	1	2	2	3
人にものを頼める	2	2	3	1
自分の意思を示せる	3	1	2	3
人を和ませる雰囲気がある	3	2	3	3
集団遊びが出来る	3	3	3	3
外出を楽しめる	2	3	2	3
人の違い分けがうまい	3	1	3	1
思い出話がうまい	2	2	2	1
人を褒めるのがうまい	3	2	3	3
礼節、道徳への関心がある	3	1	2	2
手伝おうとする	3	2	3	2
表情が豊かである	2	1	3	3
生き生きとした目をしている	3	2	3	3
待てられる	2	1	3	1
人を引き付ける雰囲気がある	3	2	2	3
好奇心がある	2	1	3	3
楽しみにしていることがある	2	2	3	2

根拠

- 自分の居場所を見つけるのがうまい
 - 1 近頃はそわそわすることも多く、頻繁にトイレに立つ。排泄がある様子でもなく、なんとなく居心地が悪いからなのではないか。(管理者)
 - 3 皆さんのムードメーカーで、どこにいても話が弾んでいる。(新人職員)
- 待ってられる
 - 2 時々、話を聞かずに行動することもあるが、おおむね一人で考えて待っている様子が見られる。(管理者)
 - 1 こちらの話が分からないのか、よく先に行動してしまう。(新人職員)

生活健康スケール T・K様

T・K様 データ



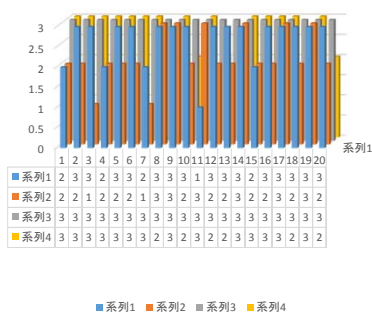
生活健康スケール	T・K様			
項目	管理者 入社12年	介護員1 取組役	介護員2 兼務 6年目	介護員3 入社2か月
仲間への気配りがある	3	2	2	3
聞こうとする態度がある	3	3	2	3
身だしなみに気を遣う	3	3	3	3
自分の居場所を見つけるのがうまい	3	3	3	2
人にもを頼める	3	3	3	3
自分の意思を示せる	3	2	3	3
人を和ませる雰囲気がある	2	2	3	3
集団遊びが出来る	2	3	3	3
外出を楽しめる	2	3	3	わからない
人の使い分けがうまい	3	3	3	3
思い出せるのがうまい	3	3	3	3
人を褒めるのがうまい	3	3	3	3
礼節、道徳への関心がある	3	2	3	3
手伝おうとする	3	2	3	2
表情が豊かである	2	1	3	3
生き生きとした目をしている	3	1	3	2
待ってられる	2	2	3	2
人を引き付ける雰囲気がある	2	1	3	3
好奇心がある	3	1	3	3
楽しみにしていることがある	3	1	3	3

根拠

- **集団遊びが出来る**
 - 2 誘われるのを待っている様子もある。自分からこれがしたいということはあまり見られないが、参加すると一番楽しんでいる様子もある。(管理者)
 - 3 いつも楽しそうに参加している。(新人職員)
- **手伝おうとする**
 - 3 女性が困っていると、積極的に声をかけている。また、今まであまりしてこなかった家事などを勉強だ、と言ってやってみようとする。(管理者)
 - 2 手伝ってと声をかけたことはないが、周りのスタッフの様子を見ていると手伝っている場面を見た。(新人職員)

生活健康スケール O・K様

O・K様 データ



項目	O・K様			
	管理書 入社12年	介護員1 取締役	介護員2 業務 6年目	介護員3 入社2か月
仲間への気配りがある	2	2	3	3
聞こうとする態度がある	3	2	3	3
身だしなみに気を遣う	3	1	3	3
自分の居場所を見つけることがうまい	2	2	3	3
人にものを頼める	3	2	3	3
自分の意思をさせる	3	2	3	3
人を和ませる雰囲気がある	2	1	3	3
集団遊びが出来る	3	3	3	2
外出を楽しめる	3	3	3	3
人の違い分けがうまい	3	2	3	2
思い出話がうまい	1	3	3	3
人を暖めるのがうまい	3	2	3	2
礼節、道徳への関心がある	3	2	3	2
手伝おうとする	3	3	3	3
表情が豊かである	2	2	3	3
生き生きとした目をしている	3	2	3	3
待ってられる	3	3	3	3
人を引き付ける雰囲気がある	3	2	3	2
好奇心がある	3	3	3	3
楽しみにしていることがある	3	2	3	2

根拠

- 人を引き付ける雰囲気がある
 - 3 昔から真面目に一生懸命働いてきたことで、一本芯が通っていて話していて気持ちがよい(管理者)
 - 2 同じことを繰り返し話をしているからなのか、あまり周りの人と話が弾んでないように見える(新人職員)
- 人を褒めるのがうまい
 - 3 すべてのものに感謝、という様子が見られ、他者に対しても励ましたりほめたりしている。
 - 2 イントネーションが一本調子で、ほめられても感情がこもってないような気もする(新人職員)

1. 仲間への気配りがある

1	仲間への気配りがある
(かなりー3)	仲間の感情や集団全体の動きに気を配り、適切にそれを表現できる。
(ややー2)	気を配る様子はあるが、状況にマッチした気配りにはならないことの方が多い。
(あまりー1)	どちらかといえば0に近い。↓
(全くー0)	仲間の方へ目が向かない。

2. 聞こうとする態度がある

2	聞こうとする態度がある
(かなりー3)	話し掛けられているとき、聞いているというように身構えをし、うなずいたり聞き返したりして、嫌なことは嫌、好きなことは好きといえる。表現力がある。
(ややー2)	聞こうという身構えはあるが、表現力のスムーズさには劣る。どちらかといえば3に近い。↑
(あまりー1)	どちらかといえば0に近い。↓
(全くー0)	聞こうとする身構えさえ難しい。

3. 身だしなみに気をつかう

3	身だしなみに気をつかう
(かなりー3)	立ち居振る舞いの中で、服装の乱れを整えようとする。お洒落心がある。仲間の服装の乱れにも気づいて注意することがある。人の服装や髪型などをほめることがある。
(ややー2)	どちらかといえば1に近い。↓
(あまりー1)	服装などお洒落心はあまりみられないが、汚したりすると、気にし、困惑して落ち着きを失ってしまう。
(全くー0)	汚れや湿りに関して全く無頓着。

4. 自分の居場所をみつけることがうまい

4	自分の居場所をみつけることがうまい
(かなりー3)	施設のルーム空間を、自分の家のように安心してきって振る舞っている。
(ややー2)	安心していられる定まった場所が幾つかある。いわれなくとも自分で選択している場所に行くことができる。
(あまりー1)	くつろいでいる様子ではないが、身のおきどころがないという感じではない。
(全くー0)	身のおきどころがない感じで落ち着きがない。

5. 人にものが頼める

5	人にものが頼める
(かなりー3)	頼みごとの表現力が豊かで自然。何をしてもらいたいのかがよく伝わり、してもらったことに感謝する言動も適確。
(ややー2)	頼みごとをすることはできるが、何をしてもらいたいのかわかりにくい。世話されたことにはありがたさを素直に表現する。
(あまりー1)	頼みごとがあっても感謝の表現ができない。どちらかといえば0に近い。↓
(全くー0)	頼むことはできない。世話を受けてもぼんやりしている。気づかない。

6. 自分の意志を示せる

6	自分の意志を示せる
(かなりー3)	したくないこと、したいこと、してほしいこと、してほしくないことをはっきり示せる。
(ややー2)	どちらかといえば3に近い。↑
(あまりー1)	どちらかといえば0に近い。↓
(全くー0)	意志を全く示せない。

7. 人をなごませる雰囲気がある

7	人をなごませる雰囲気がある
(かなりー3)	その人の言ったりすることが契機になって周りをなごませます。ムードメーカー。
(ややー2)	いつもそれとなくいる人だが、同調したり、あいづちをうったりすることがうまい。いないときはいてほしいと思える人。
(あまりー1)	むら気が強く、ときどき周りをしらせさせるが、たまに気分の良いときには楽しそう。
(全くー0)	いつも興奮気味で気難しい。人をなごませてくれない。周りの人が逃げ出したくなるような雰囲気。

8. 集団遊びができる

8	集団遊びができる
(かなりー3)	ゲーム(レクリエーション)に夢中になって楽しみ、競争に興ずることができる。遊びの中心的役割を果たしている。参加しないときには観客の役目を果たしている。
(ややー2)	時々参加を拒否するが、参加したときは楽しそう。
(あまりー1)	どちらかといえば <u>0</u> に近い。
(全くー0)	できない。無関心。無感動。

9. 外出を楽しめる

9	外出を楽しめる
(かなりー3)	自然、人物、風物に関心を示し、感動したり、批判したりする。活気がでる。
(ややー2)	受け身ながら、やわらかな顔で風物と接触している感じ。自在な感じ。
(あまりー1)	連れ出すのが大変。連れ出すことができたときは、どちらかといえば <u>2</u> に近い。↑
(全くー0)	連れ出すのが大変。外に出ても自分にとじこもって自由になれない。

10. 人の使いわけがうまい

10	人の使いわけがうまい
(かなり—3)	時と状況によって必要な人を使い分けられる。人を嗅ぎ分けられる。
(やや —2)	人の使いわけをしようとするが、あまり上手ではない。
(あまり—1)	人の使いわけはしようせず、受け身に従うことが多い。
(全く —0)	人の使いわけ、人間関係などに全く無関係。

11. 思い出話がうまい

11	思い出話がうまい
(かなり—3)	自慢話が曖昧でない。昔の得意な(いい時代の)ことになると聞き手に合わせて作り話(前後不明)を巧みに織り込んで辻褄を合わせて話を続けることができる。
(やや —2)	どちらかという作り話は下手だが、聞き手によってパターンを変えられる。
(あまり—1)	短編の繰り返し。聞き手が違ってもワンパターン。どちらかといえば <u>0</u> に近い。↓
(全く —0)	聞き手にお構いなし。人と話すことがない。うんざりさせられてしまう。

12. 人を誉めるのがうまい

12	人誉めるのがうまい
(かなり—3)	上手におせじを使うなど、ほめる言葉をたくさん持っていて、ほぼ的確に表現できる。巧みに言葉を用いる。
(やや —2)	おせじやほめる言葉の語数は少ない。自分から人をほめることはまれだが、人のほめ言葉に我が意を得たりと同意、同調できる。
(あまり—1)	ほめ言葉を自分から発することはできない。積極的な同意や同調はできないが、その場の雰囲気には心地良さそうな顔をしている。
(全く —0)	ほめ言葉が全くでない。ほめられても無関係な顔。

13. 礼節・道徳への関心がある

13	礼節・道徳への関心がある
(かなり—3)	礼節がある。仲間や職員の、物を大切にしない態度、礼儀のなさ、ぞんざいな言葉などに対して、批判的な態度を示すことがよくある。また非常識なことや犯罪などに関心をもって聞く。
(やや —2)	時々そのようなことがある。どちらかといえば <u>3</u> に近い。↑
(あまり—1)	どちらかといえば <u>0</u> に近い。↓
(全く —0)	全くそのような様子はみられない。

14. 手伝おうとする

14	手伝おうとする
(かなりー3)	準備や片付けの様子をみて、自発的に手伝おうとする。
(ややー2)	自発的ではないがお願いすればしてくれる。
(あまりー1)	お願いしても手伝うことはできない。ただし期待されている役割があることを察知して、手伝いに似た行動をとっている。
(全くー0)	お願いしても全く反応なし。

15. 表情が豊かである

15	表情が豊かである
(かなりー3)	喜怒哀楽の表情が豊か。ただし、「顔に出してはいけない時」を心得ている。
(ややー2)	喜怒哀楽の表情は豊かであるが、状況によってコントロールすることは難しい。
(あまりー1)	表情豊かとはいえないが、表情に固さはない。
(全くー0)	表情が固く、能面のような顔の時は多い。

16. 生き生きした目をしている

16	生き生きした目をしている
(かなり—3)	目線が落ち着いている。目線がハッキリしている。相手の目線を見て態度を変えることができる。
(やや —2)	目線は落ち着いているが、相手の目線を見て態度を変えることまではできない。
(あまり—1)	目線が落ち着かず、こちらが目線を合わせても瞬時の反応が返ってくる程度。
(全く —0)	目線が落ち着かず、目線を合わすことさえ難しい。目に活気がない。

17. 待ってられる

17	待ってられる
(かなり—3)	言われると納得し、我慢して待ってられる。
(やや —2)	どちらかといえば <u>3</u> に近い。↑
(あまり—1)	どちらかといえば <u>0</u> に近い。↓
(全く —0)	瞬時も待ってられない。

18. 人をひきつける雰囲気がある

18	人をひきつける雰囲気がある
(かなり—3)	自分の思っていること、感じていることを相手に伝えることがうまい。魅力的。憎めなさがあり、感動させられてしまうことがある。
(やや —2)	時々そのようなことがある。どちらかといえば 3 に近い。↑
(あまり—1)	自分の思っていること、感じていることの伝え方がくどくどしい。攻撃的。どちらかといえば 0 に近い。↓
(全く —0)	「できれば関わりたくない」と、こちらに思わせてしまう。

19. 好奇心がある

19	好奇心がある
(かなり—3)	新しい物、遊び、外出ルートを変えることを気にする様子はない。時にはやりたがる態度を示す。ものの使い方を工夫したり発明したりするようなこともある。
(やや —2)	どちらかといえば 3 に近い。↑
(あまり—1)	どちらかといえば 0 に近い。↓
(全く —0)	新しいやり方を拒む、いやがる。受けつけない。

20. 楽しみにしていることがある

20	楽しみにしていることがある
(かなりー3)	ここに来ることを(この場のことを記憶していなくとも)心待ちにしていることがある。
(ややー2)	どちらかといえば <u>3</u> に近い。↑
(あまりー1)	どちらかといえば <u>0</u> に近い。↓
(全くー0)	心待ちにしている様子は全くみられない。

分析時に削除した項目

21～24

21. 聞きたくないときに聞こえないふりができる

21	聞きたくないときに聞こえないふりができる
(かなりー3)	ここに来ることを(この場のことを記憶していなくとも)心待ちにしていることがある。
(ややー2)	どちらかといえば <u>3</u> に近い。↑
(あまりー1)	どちらかといえば <u>0</u> に近い。↓
(全くー0)	心待ちにしている様子は全くみられない。

22. マイペースの参加をしている

22	マイペースの参加をしている
(かなりー3)	こちらが用意しているプログラムに無理をして参加している様子はなく自然体。疲れたら休んだり、いやなことで休んだりすることもスムーズにできる。
(ややー2)	無理をして参加している様子はないが、「やらなければならない」というようなまじめすぎる態度で、マイペースを保てないときがある。
(あまりー1)	参加するときには不安、緊張が強く、そばについていないとその座を保てない。
(全くー0)	そばについていてもその座を保てない。全くマイペースの状態を保てない。

23. 恥をかいたり、失敗したりする自分を引き受けている

23	恥をかいたり、失敗したりする自分を引き受けている
(かなりー3)	例えばゲーム、排泄など失敗したことや破損など、恥ずかしいことに対して自分を取り繕うのがうまい。あるいは率直に恥をうまくかく。
(ややー2)	どちらかといえば 3 に近い。↑
(あまりー1)	失敗や恥を取り繕おうとするが、ごまかし下手。こだわりを大きくして落ち着きをなくしてしまう。どちらかといえば 0 に近い。↓
(全くー0)	すっかり自分を失い、落ち着きをなくして世話が難しくなってしまう。

24. 老いへの適応が自然である

24	老いへの適応が自然である
(かなりー3)	例えば、自分や他人の失禁や動作の鈍いことなどに対しても、「老いてきているのだから仕方のないこと」というような言動がみられる。
(ややー2)	どちらかといえば <u>3</u> に近い。↑
(あまりー1)	どちらかといえば <u>0</u> に近い。↓
(全くー0)	老いに対して「こんなはずはない」などの態度がみられ、こだわりが強い。

スケールの意図

- 『認知症』に関心を偏らせず、人間対人間の関係から関心をそらさず、個々が生きる力のなかにある健全さ、懸命さを見逃さないですむ道具を持ってケア(支援)の質を高めるということである。
- 特に、認知症の程度が最高度であっても、人間としての役割を欲している「何か』があることを感知できる道具として活用して欲しいと願います。

他のアセスメント

平成25年度 6月 個別機能訓練実施表										決				
氏名		性別		要介護						裁				
生年月日		年	月	日	年齢									
目標														
評価	機能訓練				日常生活動作訓練				特記事項・今月の評価・総合評価(3ヶ月)					
	自動運動	支助自動運動	抵抗自動運動	マッサージ	歩行訓練	立位訓練	バランス訓練	家事関連動作訓練	調理	清掃	洗濯			
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
24														
25														
26														
27														
28														
29														
30														
31														
小計														

ご本人の長・短期目標、前月の目標達成度からカンファレンスを行い策定します。

利用日に行った訓練項目に手書きでチェックをしていきます。

毎月機能訓練士と介護職員が評価を入れます。

家事関連動作訓練に関しては、調理、清掃、洗濯の3項目を基本とし、その他はご本人それぞれの特性や意向に応じ手書きで項目を記載します。

平成25年度 6月 個別機能訓練実施表										決				
氏名		性別		要介護						裁				
生年月日		年	月	日	年齢									
目標 (機) 歩行の安定を図る。 / (日)ご本人の好きな調理を負担なく、自ら取り組めるようになる。														
評価	機能訓練				日常生活動作訓練				特記事項・今月の評価・総合評価(3ヶ月)					
	自動運動	支助自動運動	抵抗自動運動	マッサージ	歩行訓練	立位訓練	バランス訓練	家事関連動作訓練	調理	清掃	洗濯	移動		
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
24														
25														
26														
27														
28														
29														
30														
31														
小計														

関節可動域訓練、マッサージは本人希望により受けておりません。
(機能訓練士)

日常生活動作訓練の家事関連動作訓練については機能訓練士の助言を受け、介護職員がご本人と一緒に調理を行っております。

調理動作としては、食材を切る、皮をむく、炒める味付けをする、盛り付ける、台所の後片付けをする等の動作を確認しながら実施しています。

清掃は、筆で掃く、掃除機をかける等を支援しております。

ご本人からは「筆より掃除機のほうが使いやすい」との語があります。

6月11日以降は掃除機をかける支援をしております。

洗濯は洗濯物を干す、たたむ等を支援しております。

全体的に動作手馴れはなっておりませんが、調理はご本人も意欲的に取り組んでおり、手指を動かす機会を作っております。

次月も調理を中心に訓練していきます。

(介護職員)

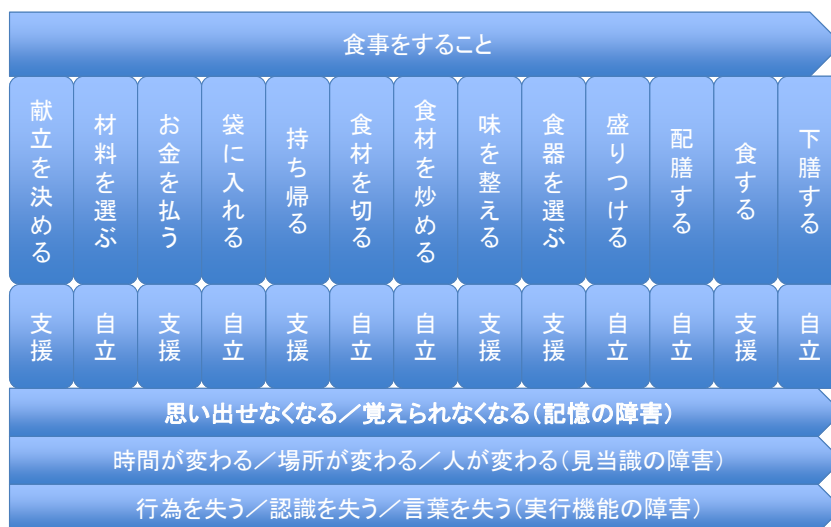
生活支援から見る『認知症』と 『人』の支援の実際①

蕎麦編

認知症の状態にある人へ 生活を支援するということは

- ①認知症と向き合う(中核となる症状を知る)
- ②人としての姿(点)を見極める(人となりを知る)
- ③点の見極めから線へ繋げる(生活の再構築)
- ④線から面(地域／社会)へと再び広げ繋げる

認知症の状態にある人の 生活と中核となる症状と支援と自立について



生活支援から見る『認知症』と 『人』の支援の実際②

DSDーナッツ編

まとめ

自尊心が高められること

大切なメッセージ

82

認知症とは 生活の障害である

認知症の状態にある人へ 生活を支援するということは

- ①認知症と向き合う(中核となる症状を知る)
- ②人としての姿(点)を見極める(人となりを知る)
- ③点の見極めから線へ繋げる(生活の再構築)
- ④線から面(地域/社会)へと再び広げ繋げる

『人として』から『人となり』へ

人や周囲への気配りができる
身だしなみを気にかけることができる
自分の居場所をのを見つけ方がうまい
自分の意志を示せる
人をなごませられる(ユーモアがある)
外出を楽しむことができる
人を褒めることができる
手伝おうとする
好奇心が旺盛である
楽しみにしていることがある

ライブ中島紀恵子と教え子たち「老年看護の縦横な語り」
中島紀恵子、北川公子 クオリティケア『生活健康スケール』を参考

『人となり』

『人となり』をどのように見出せるのかということ
を解れば、『認知症』に右往左往することなく、差
別感情に左右されず敬意あるまたは尊厳ある態
度と対話もできやすくなる。

ライブ中島紀恵子と教え子たち「老年看護の縦横な語り」
中島紀恵子、北川公子 クオリティケア より

人の姿と認知症

- 姿の捉え方からスタート
どんな姿かと思っているかがその後の関わりや支援(介護・ケア)に影響する

視点(姿の捉え方)は認識を創造し
認識は経験を創造する

『生きること支援が私たちの仕事です』

アウル

未来への提言 『認知症』と『人』の支援
5つの尊厳と3つの原則

5つの尊厳

- 食の尊厳
- 移動の尊厳
- 排泄の尊厳
- 住の尊厳
- 死の尊厳

3つの原則

- 主体性の原則
- 選択性の原則
- 関係性の原則

ご清聴を感謝いたします
ありがとうございました

- ご質問などがございましたら、下記へご連絡下さい。

〒052-0014

北海道伊達市舟岡町337-1

グループホーム アウル

Tel 0142-21-1680

Fax 0142-21-1682

〒059-0026

北海道登別市若山町3丁目8番地45

グループホーム アウル登別館

Tel 0143-88-3335

Fax 0143-88-3336

〒052-0014

北海道伊達市舟岡町340-14

デイサービスセンター アウル

Tel 0142-21-1150

Fax 0142-21-1160

総合施設長 宮崎直人

メールアドレス: owl0907@aioros.ocn.ne.jp

ホームページ: <http://www.gh-owl.com/>